

韓国青年（大学生）訪日団（オンライン）の記録

1. オンライン交流概要

【目的】在韓公館から選抜された韓国の大学生を対象として、東日本大震災発生 10 周年を機に、被災地復興の取組みを学ぶとともに、福島県を訪問し、復興の状況、特産の農水産品の紹介及び地域の農業の取組について理解を深め、韓国で対外発信することにより福島を含む東日本大震災被災地の風評被害をなくすことを主目的とする。

【参加者】

韓国の大学生等 130 名

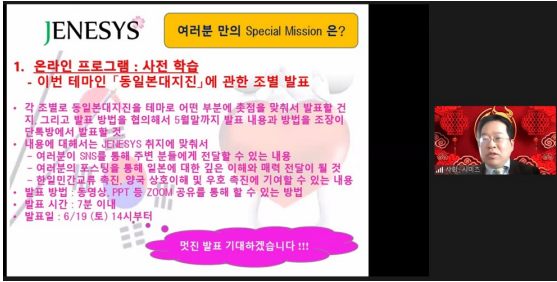
2. 日程

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数実績）
1 回目 2 月 20 日	【オリエンテーション】 【プロジェクト課題説明・意見交換】 「東日本大震災から 10 年、被災地の復興」 ① 聴講・質疑応答 ② グループ別意見交換・準備	防災リスクマネジメントの重要性が韓国でも高まっていることから、「大震災から 10 年経つ日本が困難をいかに克服したか、大変関心がある」との声が多く、意見交換の場ではプロジェクト課題の具体的内容について活発に意見交換が行われた。中には、「原発関連をテーマに扱いたい」「放射能の被害は韓国での報道ほどではない、それは先入観だ」と話す参加者もいた。（参加者：130 名）
2 回目 3 月 20 日	【テーマ関連講義・意見交換】 「東日本大震災復興の足跡を学ぶ」 ① 東日本大震災復興ドキュメンタリー映画「一陽来復」鑑賞 ② 講義・質疑応答 講師：「一陽来復」尹美亜監督 ゲスト：遠藤伸一氏（出演者）	「映画から住民が前を向くエネルギーを感じた」「今の様子を是非実際に視察したい」「韓国人にとって福島は疲弊、荒廃した場所というイメージがあったが映画によってイメージが変わった」等の意見と共に、「自分たちの視察が被災地に住む皆さんの負担にならないか、どのよ

		うに皆さんに接したら良いか」「福島放射能問題の韓国人の認識についてどう考えているか」等の質問も寄せられた。大変意欲的な姿勢が見られ、東日本大震災被災地への風評被害払拭に大きくつながった。(参加者：130名)
3回目 4月10日	【テーマ関連講義・意見交換】 「最近の日韓関係について」 講師：外務省 武田克利 日韓交流室長 ① 講義・質疑応答 「福島の風評被害払拭」 講師：福島県出身の JENESYS 事業参加学生 ① 福島の魅力紹介・質疑応答 「東日本大震災被災地視察体験談とその後の活動」 講師：JENESYS 事業参加学生（韓国人） ① 訪日団での経験を紹介・質疑応答	最近の日韓関係に関する講義では、日韓関係や交流に関し、数多くの質問が出た。日韓の過去 JENESYS 参加者による東日本大震災被災地に関する発表は大変好評で、参加者からは「福島へのイメージが変わった」「福島に関する情報にはこれまであまり接する機会がなかったが、新たな情報を得ることができた」等の肯定的な感想が多く聞かれた。(参加者：130名)
4回目 5月8日 福島県福島市	【テーマ関連視察・講義】 「福島の風評被害払拭」 ① 福島市内視察・質疑応答 (福島県観光物産館及び、JR 福島駅周辺) 「福島で20年～キムチおばさんとして生きて」 講師：NPO 法人ふくかねっと 鄭鉉淑（チョン・ヒョンスク）理事長 ① 講義・質疑応答 「東日本大震災被災体験談・復興支援ボランティア活動」 講師：翰林大学日本学研究所 嚴泰奉（オム・テボン）教授 講義・質疑応答	福島市内の日常風景や福島の特産品、福島で東日本大震災を経験した韓国出身者による農業を中心とした地域復興活動や日韓交流に関する講義を通し、「福島へのイメージが変化した」「SNS 発信を通し風評被害払拭のために積極的に取り組みたい」という感想が多く寄せられ、「福島の情報は日韓でだいぶ異なるが、情報の差をどう埋めていけばいいのか」等の質問も出た。(参加者：130名)
5回目 7月17日 (1・2団) 7月31日 (3・4団)	【テーマ発表報告】 ① 「東日本大震災」に関する課題プロジェクト発表・意見交換 【交流・意見交換】	テーマ発表では、各グループ東日本大震災をテーマに調査した内容を全体で共有した。その後は、日韓の若者同士が「最近の日韓関係」をテ

	①「最近の日韓関係」に関して、日本の同世代との意見交換	一マに、日韓の新聞記事を比較しながら率直に意見を交わし合い、日韓関係の現状と問題点、日韓関係で若者ができることは何か等の意見を共有し合う有意義な時間になった。(参加者：130名)
--	-----------------------------	---

3. 記録写真

	
2021年2月20日【プロジェクト課題説明・質疑応答】「東日本大震災から10年、被災地の復興」	2021年3月20日【テーマ関連講義・意見交換】復興ドキュメンタリー映画「一陽来復」尹美亜監督と出演者遠藤伸一氏との意見交換
	
2021年4月10日【テーマ関連講義・意見交換】「福島の風評被害払拭」～福島県出身の学生による福島の魅力紹介及び質疑応答	2021年5月8日【テーマ関連視察】「福島の風評被害払拭」～オンライン視察（福島県観光物産館長の福島県特産物紹介）
	
2021年5月8日【テーマ関連講義・意見交換】「福島の風評被害払拭」～講義「福島で20年～キムチおばさんとして生きて」	2021年7月31日【交流・意見交換】「最近の日韓関係」に関して、日本の同世代と意見交換

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 学生

本プログラム参加をきっかけに福島について肯定的な認識を持てるようになった。日本の防災対策と復興への努力について深く学ぶことができ、非常に興味深かった。また、オンラインによる生中継で現地の今の様子を見られたこと、日本の学生との交流等を通じ、訪日への期待が高まった。

◆ 韓国 学生

日頃から日本へとても関心を持っていたが、今回のプログラムを通じて、単に日本の表面的な部分や文化的な側面のみを見るのではなく、日本が経験した痛みと地震災害、それらを日本人がいかに克服していくのか等について学びながら、日本をより深く理解することができた。私にとっては毎月1回の本プログラムに参加する時間が本当に貴重に感じた。最後の日本の学生との交流は、短い時間ながらも日本語を使って意見交換することもでき幸せであり、本プログラムに参加できたことに感謝したい。

◆ 韓国 学生

コロナ禍の厳しい状況であるにもかかわらず、これを克服しようとしてご尽力いただき、素晴らしいプログラムをご準備してくださった主催者の皆様に感動した。今回のプログラムで多くの日本の方々と交流できたのが嬉しかった。特に、東日本大震災の被災者の方の声を聞いたのが私にとっては大きな経験となり、最近の日韓関係に関する講義、福島現地からの生中継、日本の大学生との交流、いずれも深く記憶に残っている。今まで日本について誤解していたこと、誤って認識していたこと等が変わるひと時でもあった。

◆ 韓国 学生

今回のプログラムで日本の新たな姿を知ることができた。韓国で接する日本の姿は限定的であるため、それにより自分でも気付かないうちに偏見を持っていたように思う。そのような事実を悟ることができ、日本への見解と視野の幅を広げてくれたプログラムであった。

5. 受入れ側の感想

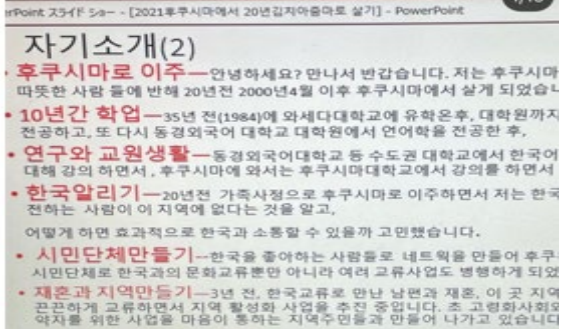
◆ 福島県観光物産館関係者

福島では震災・原発事故後も普通に日常を送っており、農水畜産物を育て、普通に食べている。もちろん口にする食材などに対しては、放射線検査がきちんと行われている。ぜひ素晴らしい福島を実際に訪れ楽しんでもらいたい。福島県民はおもてなしをすることが大好きなため、皆さんを大歓迎する。今後も韓国の皆さんと共に歩んでいきたいと思う。

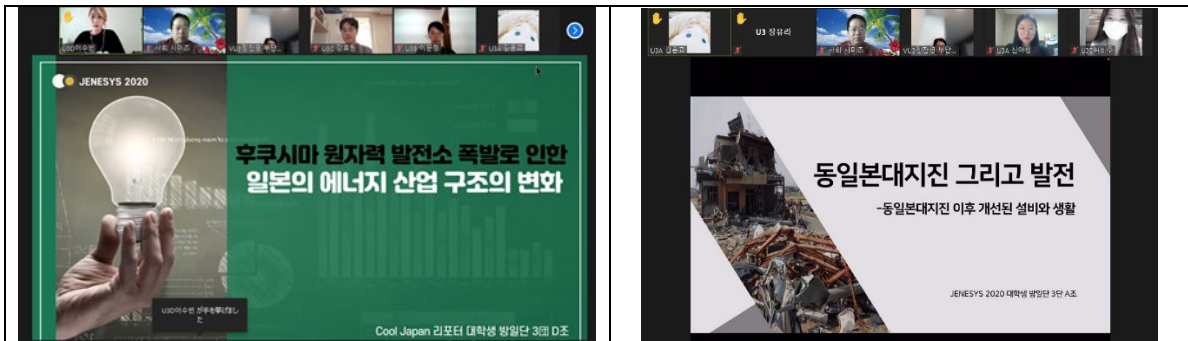
◆ 福島県 NPO 法人関係者

コロナ禍で人々の国際間の往来が自由にできない今、オンラインによる交流で福島の様子を韓国の皆さんにご覧いただける機会を与えていただき、大変ありがたい。今回の企画は、コロナという危機の中で新たなチャンスや世界を見いだす素晴らしい取り組みだと感じた。韓国の皆さんには、今回のプログラムをきっかけに新たな発見があったことを願うと共に、今後の言動がどのように変わっていくか期待したい。

6. 参加者の対外発信

 감독님의 특강에서 이 영화에 무엇을 담으셨는지, 동일본 대지진에 대해 우리가 더 깊게 관심을 가져야겠다는 생각이 강렬히 들기 만들었던 특강이었구요 실제 동일본 대지진을 겪으신 분의 경험담도 들었어요 정말 제가 그 상황이라면 어땠을까 하며 아찔한 기분이 들고 그걸 직접 겪으신 분들도 정말 큰 트라우마로 남았을 거 같아 마음이 정말 아팠습니다	 동일본 대지진의 충격으로부터 10년 남짓이지만 후쿠시마는 현재 피재지라고는 믿기지 않을 만큼 처음 들어보지만 한번 좀 가보고 싶다는 생각이 자 동으로 드는 예쁜 관광지들이 많았고 또 민감한 문제인 먹거리 관련해서는 모든 식품들은 방사능 수치 검사를 철저히 진행하여 통과수준을 넘기지 못하면 수출되지 않는다고 합니다.
2021 年 3 月 20 日 (ブログ) 「東日本大震災復興の足跡を学ぶ」 (尹美亜) 監督からこの映画へ込めた思いを聞き、私達は東日本大震災へより深い関心を持たなくてはならないと強く感じた。被災者の方の大きなトラウマが残るような体験談を聞いて、本当に胸が痛んだ。	2021 年 4 月 10 日 (ブログ) 「福島の魅力の発表」 東日本大震災から 10 年経ったが、現在の福島は被災地であるとは信じ難く、話を聞いていると一回は行きたくなるような素晴らしい観光地も多い。また、全ての食品に放射能検査を徹底して実施しているようだ。
 sxxnmf 5월 8일 네 번째 시간에는 온라인 후쿠시마 시청 및 후쿠칸넷 정현숙 이사장님의 강의를 있었다. 후쿠시마 관광물산관 관장님이 후쿠시마역 주변과 관광물산관 투어를 온라인으로 진행해주셨는데 뭔가 생생정보통을 보는 느낌이라서 재밌었다 😊 그리고 다음으로는 정현숙 이사님의 강의가 이어졌는데 일명 '김치아줌마'로 불리는 정현숙 이사님은 2000년부터 후쿠시마에 거주하신다고 한다. 또한 한국문화와 언너를 알리고자 "후쿠칸넷"이라는 시민단체를 만드셨다고 하는데 이외에도 동일본 대지진 이후 후쿠시마현 주민들을 위한 치유카페도 설립하시는 등 좋은 활동을 많이 하고 계셨다. #jenesys2020#cooljapan#	[JENESYS 2020] 쿨 재팬 리포터 활동 소감 우선 쿨 재팬 리포터 활동 전까지 저에게 후쿠시마는 방사능에 오염된 위험한 지역이었지만 안전성 논란에 시달리는 후쿠시마의 식료품 관리, 출하 과정과 기준 등에 대해 자세히 배움으로써 매우 엄격하고 철저한 과정을 통해 유통된다는 것을 실감했고 그간 불신의 이미지가 변화 될 수 있었습니다. 또 동일본 대지진 당시 상황이 담긴 영상과 피해를 겪은 주민들의 인터뷰 영상 등을 본 주차가 있었는데 너무 사실적이라 마음이 아팠고 피재지의 사람들이 서로를 도우며 아픔을 극복하려는 모습이 감동적이었습니다. 그만큼의 피해를 겪고도 10년이라는 시간안에 지금의 일본으로 빠르게 부흥했다는 게 놀랍기도 하고 복합적인 감정이 교차했습니다
2021 年 5 月 8 日 (Instagram) 「福島風評被害払拭」 この日はまず福島駅周辺の様子と福島県観光物産館をオンラインで視察し、生の情報を得ることができ興味を惹かれた。その後はキムチおばさんこと鄭鉉淑理事長の講義を聞いた。鄭理事長は2000年から福島に居住し、韓国文化と韓国語を伝えるために「ふくかねっと」という市民団体を立ち上げ、東日本大震災以降は福島県の住民のための「いやしカフェ」を作る等の素晴らしい活動をされているという。	2021 年 7 月 31 日 (ブログ) 「今回のオンラインプログラムの全体感想」 福島は放射能に汚染された危険地域という認識だったが、今回福島で食料品が非常に厳しく徹底された基準で出荷されることを詳しく学び、過去の不信感を変えることができた。また、東日本大震災当時の状況や被災者の証言等を耳にし、非常にリアルに感じ胸が痛んだ。被災者が互いに助け合い克服しようとする姿に感動した。一方この 10 年で日本がここまで早く復興したことに驚いた。

7. オンラインプログラムの成果発表



(写真：成果発表の様子，左：「福島原子力発電所爆発による日本のエネルギー産業構造の変化」，右：「東日本大震災後の発展～改善された設備と生活」)

今回のオンラインプログラムでは，オフラインによる実際の訪日に備えた事前調査も兼ねて，各グループに「東日本大震災」に関する課題プロジェクトを与えた。それぞれ取り組んだ内容は，本オンラインプログラム最終日に実施した「テーマ発表報告」の時間に各グループが発表し，全体で共有した。プロジェクトを通してテーマに関する理解を深めた参加者たちからは，訪日の際に施設見学や実地視察等を通し，さらに理解を深めたいという意見が多く出された。

主なテーマ例：「地震発生時の国や民間の支援」，「復興の現況分析（復興予算や復興への評価）」，「復興庁の設立と取組」，「被災後の『防災から減災へ』の認識の変化」，「福島原発事故と新エネルギー政策」等。

事業実施団体：公益財団法人 日韓文化交流基金